

# 3り光

No.142 2018. 7

発行 真言宗豊山派  
北田山 寶泉寺  
所沢市北岩岡 130  
編集 色 摩 真 了  
ホームページアドレス  
takaranoizumi.com

## 大般若転読会



### 第二十回記念法要



現本堂の完成を機に始まった、毎年5月最終土曜日に厳修される大般若転読会。本年は本堂落慶20周年という節目の年でもあり、

- ① 豊山聲明（歌うお経）の大家、新井弘順師による大般若レクチャー
  - ② 豊山雅楽会による雅楽の演奏
  - ③ 寶泉寺ご詠歌衆によるご詠歌の奉詠
  - ④ 散華という、花をまいて仏さまをお迎えする華やかな聲明のお唱え
  - ⑤ お札申込者への記念品（寶泉寺クリアファイル）配布
- といった、特別仕様でした。

当日は、たくさんの檀信徒の皆さんにお越しいただき少し長丁場でありましたが、本当に素晴らしい時間となりました。これからも永きに渡り寶泉寺をよろしく願いたします。



みんなで転読



ご詠歌衆奉詠



雅楽隊の演奏

## 【大般若に参列された檀徒の方から感想を寄せて頂きましたのでご紹介します】

数年ぶりの参加でしたが楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。

今回新しい試みとして「ご詠歌」や「雅楽」が取り上げられ、特に雅楽の、紹介・説明（昔はお寺でも雅楽が演奏されていたという裏話、興味深かったです）後の演奏では間近で聞く笙の柔らかい音色に聞き入っていました。

また他の参加者と一緒に転読の型を真似たり般若心経を唱えたりと、普段家の仏壇に手を合わせている以上に仏さまとの距離が近くなったように感じられました。

最後にあった雅楽と3基の和太鼓との競演では本堂が迫力・圧巻のライブ会場に一変！近くの富岡公民館ホールで合唱を楽しんでいる私にとってこの本堂での響きが実に心地良かったです。10月にミューズで聲明コンサートがあるとのこと、是非とも聴きに行こうと思います。これからも身近な存在のお寺でありますようお願いしています。 北岩岡 山口和男（66歳）



散華をまぐ僧侶

# ♪聲明コンサート開催♪

節をつけてお唱えするお経の聖歌「聲明（しょうみょう）」。真言宗の聲明は音楽的な評価が高く、これまでニューヨークのカーネギーホールや赤坂のサントリーホールなど名だたる音楽ホールでコンサートが開催されてきました。

今年の**10月28日（日）**所沢市民文化センターミューズにおいて、その聲明コンサートが開催されます。観覧ご希望の方は直接ミューズまでチケットをお求めください。もちろん、わたし住職も登壇いたします！

《問い合わせ先 ミューズ 04-2998-6500》



# 老僧のつぶやき ⑥

今年は無住の寶泉寺晋山(しんざん：住職になること)40年、本堂落慶20年、さらに個人的にも70才を迎える節目の年です。この年にもなると折りにふれ今までを振り返り感慨を覚えることがあります。そこで100年以上も無住状態が続いた寶泉寺に小僧(しょうそう)が住職になった経緯の一端をお伝えしたいと思います。

因果関係は明治にさかのぼります。時は明治15年、小僧出身の山形県長井市の隣町、川西町から歩いて上京した12歳の少年がいました。早くに母親をなくし足しげく親のお墓に通ったそうで、その姿を見ていた菩提寺のご住職の勧めで、新宿区牛込の光徳院様(現在は中野区上高田)に弟子入りしたのでした。僧名青木隆芳師。後に住職になります。そこでは何人も山形出身の若い僧侶がお世話になり、小僧の師僧、色摩真精師もその一人でした。大正の中頃に山形県長井市から宮城隆真師が弟子入り、練馬区正覚院住職となります。隆真師には寶泉寺の地区で農業を営むご親戚があり、昭和に入って無住の寶泉寺を知ることとなりました。紆余曲折を経て登記上の住職は荒幡の光蔵寺から正覚院に移ることになりました。隆真師も地方からの若い僧侶を受け入れておられ、小僧は隆真師の意思を継いだ隆正師に昭和40年代から大変お世話になりました。昭和も進み高度成長期に入り、寶泉寺では常在する住職を迎えたいと総代方を始めとして檀信徒の機運が高まり小僧の晋山に至りました。

一方、小僧自身の人生をたどってみても、あの時こうだったら今はここにいないという局面はいくつもありました。晋山という結果に至るには無数の因と縁が微妙に重なり合い、しかもそれがプラスに働いたということがわかります。

山形の山や川、田んぼや畑の環境で育った小僧には寶泉寺付近の雑木林や畑の環境はまさに水が合うというものでした。もしも町育ちの自分だったらどうだったのだろうかと思うこともあります。手探りから始まった住職としての仕事でしたが40年のうちに寶泉寺は大きく変貌を遂げましたし、大方のお檀家では代も替わってしまいました。社会も大きく変わって寺院を取り巻く状況も変わりつつあります。40年間の生活のシーンを思いおこしながら、体や知恵が働く限り努めを果たしていきたいと願っています。

# お盆合同法要

お寺方が盆棚に向かってお経をお唱えするのを棚経といい、お盆の習わしでした。それに替わって寶泉寺では、本堂にてお盆で帰られたご先祖様のための合同法要を行っております。どうぞ軽装でおきがるにご参加下さい。

日時 8月13日(月)

午後3時45分 お盆のお話

午後4時 法要開始

会場 寶泉寺本堂

集合 「るり洞」

## 盆供・施餓鬼会

盆供・施餓鬼会については別紙でご案内した通りですが、今年より盆供の申し受け期間を改めさせていただきました。施餓鬼会の準備が目いっぱいになり少し余裕を持ちたいとの思いです。盆供、施餓鬼塔婆のお申込みは極力7月21日(土)から7月末日(火)までの期間中にご持参をお願い致します。どなたとも年に一度ぐらいは顔を合わせる機会と考えていますが、近年は郵送の方も多くなってきました。どうぞご事情にあわせてお納め願います。

墓地清掃後の花柄や草、剪定枝などはゴミカゴへ、古いお塔婆は大師堂裏の塔婆置き場へお願い致します。可燃ゴミ類は軽トラック荷台へも結構です。

なお、お盆の後の竹などを含むお供物類は庫裡北側の所定の場所へお願い致します。市の「クリーンセンター」に処分をお願いしておりますので、その際は可燃、破砕、不燃などご家庭での普段通りの分別をしていただくとうれしく思います。

## 編集後記

- サッカーワールドカップ決勝トーナメント。ウトウトしながら枕元のラジオを聴いていた。後半直後の得点からはテレビに移動、得点シーンは目に焼き付いている。これは、と思ったが最後がいけなかった。ドーハの悲劇を思い出した。代表戦となると無理しても見たくなる、これも愛国心の一つと思っているのだが・・
- 去年のお盆前、熱を出してしまい一番大事

なときに寝込んでしまい、施餓鬼に向けての準備が目いっぱいだった。今は二人で仕事は分け合っているが、そのうちには何もかもが一人でとなる時も来よう、皆さんのご理解をねがう。

- 早々と梅雨が開けてしまったが新記録だという。近年気象関係では新記録は珍しくない。暑さに面食らったがここ数日の曇り空にホッとしている。

Jul. 5. 2018(琴)